

ヘアリーベッチ100%肥料で育てたお米 ～「はなふじ米」～

農業経営課 大津地域経営指導担当

【普及活動のねらい・対象】

「ヘアリーベッチ」は、優れた緑肥効果を持つとともに強い他感作用（アレロパシー）による雑草抑制作用があるといわれる地力増進作物です。水稲や大豆の前作にヘアリーベッチを作付けすると、土壤の改良効果に加え作物栽培における肥料削減や除草剤削減効果の可能性が期待されます。

そこで、大津管内の環境こだわり米を生産する担い手を対象に、ヘアリーベッチを水稲の前作に活用する取り組みを行いました。

【普及活動の成果】

ヘアリーベッチと跡作水稲栽培

H19秋、大津管内の担い手十数人と、排水対策、品種選定など、地域にあう条件を検討しながら、約6haでヘアリーベッチの試験栽培を始めました。翌春にはかなりの生育量(窒素8～12kg/10a)に生育したヘアリーベッチを鋤込み、水稲栽培を行いました。植え付け後の生育障害などのトラブルはなく、順調に生育しました。展示圃で無除草剤の区を作ったところ、ヘアリーベッチの有無で移植約40日後の草量が9割削減され、抑草効果も確認しました。

品種によりヘアリーベッチの鋤込み量をコントロールする必要がありますが、適量を鋤込んだ圃場では、基肥と穂肥の施用なしで慣行と遜色ない生育を示し、収量も慣行並（～微増）となりました。



写真 ヘアリーベッチ跡作水稲（2008.8）
（左：ベッチ跡、右：慣行）

ヘアリーベッチ100%肥料で育てたJAレーク大津のブランド「はなふじ米」

収穫後、ヘアリーベッチ100%の肥料で育てたお米を「はなふじ米」と名付け、JAレーク大津と協力し、直売所グリーンファーム石山店で販売を開始しました(品種：コシヒカリ、日本晴)。地元産で緑肥肥料100%という点と、味が良いとの評判でリピーターが多く、現在も好評発売中です。

「はなふじ米」は、生産者からは土壤改善をしながら低コスト（肥料代）でブランド米を作ることができる、消費者からは緑肥肥料100%で安全安心な地域の米を食べることができる、そして、JAからは特徴ある米を作ることにより大津ブランドのPRとJAの発展が期待できる、そんな「三方よし」の可能性を秘めています。今後も、ますます地域農業が活性化するように、支援をしていきたいと考えています。



写真 「はなふじ米」(JAレーク大津GF石山店)